兵事部の庶務係に、

三原

カミソリをあてたのです。

わ たしの中の

せんそう③ 地下 末吉

大正元年(一九一二年)生まれ

(高石市)

学校長と警察署長は日本人 どんな田舎にいっても、小 張しました。検査官が読み 達などの清書―でした。事 区司令部といって、兵籍に ってわかったことですが、 び、検査の成績を文章にし あげる軍人勅諭の持ち運 務のかたわら、管内の徴兵 関係の事務―往復文書、通 されました。内地では連隊 に、検査官の助手として出 検査や、 しごとでした。検査にまわ て検査官に渡すのが助手の 私は京城兵事部に転属 備から帰って間もな 在郷軍人の査閲

た。そんなこと一対一の至 出されるようになりまし 内の女学校や国防婦人会の である淮尉と共に、 唯ひとり、銃剣術の有段者 の赤らむ思いです。 力で何ができるというので そうないのに、まして女の 近距離でなければ役にたち ことに手を汚したことが顔 ナギナタや竹槍訓練にかり しょう。今思えば、 その頃から、私は内部で そんな 京城市

寄稿

戦争体験手記募集を見て、お寄せいただいた 手記を順次掲載しています。

みると、 の表情に気づいて、 とに彼は姿を見せませんで

原曹長」と一同に連呼しな じにはカミソリでかききっ 中にすわっています、首す に軍刀をつきさして、穴の かけよりました。彼は、 だ」という叫び声に一同が がら登る途中で、「ここ た。小高い松林の中を「三 病院裏の松林に走りまし げはありません。急ぎ陸軍 ました。わたしは官舎へ走 はいってみました。 たいく筋もの傷あとがつい ています。死にきれないで へとびこみましたが、人か 主任が「松林だ」と叫び ました。玄関を開けて中 首

私の戦争体験

(69)

られた)にときどき招かれ 異動で、彼もわたしと机を 長殿」という封書が出てき じません。何だか不吉な予 外曹長といって官舎が与え の若者でした。内部の人事 曹長がいました。彼は現役 たのむ―」旨の便箋が一枚 ました。主任が封をきって をあけてみたら、「地下曹 をあけました。まさかと思 感が走りました。主任も私 て、酒をくみかわしました。 銃剣術の相手をしていたの ならべるようになり、よく いながら、私の机の小抽出 した。官舎に連絡しても通 (曹長任官何年か経つと、営 20年8月1日、珍しいこ 親しくなり彼の官舎 「一あとよろしく 彼の机 掘るのに使ったであろうシ ましい姿に、思わず目をそ たっていました。そのいた とお水を供え、線香の煙が 穴の中に息たえていまし た奥さんが、手をあわせて たところに、赤ん坊をだい した。そこから少しはなれ ャベルがなげだされていま か。かたわらには自ら穴を いているではありません それでもまだかすかにうめ 穴の前には、 お盆にご飯

③速度がはやい。

道

⑬ふじ、紅玉などの

泊 種

だろうと、思わずにはいら 陸軍病院に運びました。人 う。あの誠実で、温厚な曹 れませんでした。 うことは、 間が、自分の手で死ぬとい 急ぎ曹長をかかえだして、 は信じがたいことでした。 でしょうか。短い間ではあ もかくされていたというの 長の一面に、こんな残虐性 があったというのでしょ た若くて、しとやかな奥さ 無事な成長を願っておられ 主人だけを頼りに赤ん坊の ったけれど親んできた私に にしなければなかった、何 でした。異郷の空の下で、 むけないではいられません 赤ん坊まで死の道連れ 何と難しいこと

短

何もわかっていないので 書けというのです。私には く憲兵隊から呼び出しで ったということで、さっそ てるだろう。それを文章に す。自殺の原因を何か知っ

> した。 出しを待つことになりま ものではわからん、真実 りません。ふだんの仕事 す。そんなこと曹長だっ をかけといって次の呼び いって、書くと、こんな ぶり位しかわからないと て他人に話すわけではあ

とは、 のです。ともあれ、戦時 彼は、部内の人間関係の とは、 う。三原曹長がどうして だろうか、と思ってみる 軋轢があったのではない なかったか、今もって私 自ら死をえらばねばなら らなかったことでしょ たのです。呼び出しどこ び出しの前日、敗戦八月 きおこした事件であるこ 下という異常な状態がひ が、唯一つ考えられるこ には思い当たりません 置に取りくまなければな ろか憲兵隊もわが身の処 〒五日をむかえてしまっ ところが、二回目の呼 兵事部勤務の長い 疑いないことで

すべもありませんでし されて、それを確かめる 何かの折に耳にしました とりとめたということを が、敗戦後の困乱に翻弄 その後、曹長は一命を

ほら貝を吹いて寒中托鉢

小中高定期券持つ孫が

春大学通う徒歩で十分

岡本

雅子

地震に津波火災で消かるさとの隣の能登の朝市は

た

上

田

雅子

蒼天に千木の輝き初詣

高野

純

深谷

風山

北口

褞袍着て父のしぐさのおもしろ

私宛に残された手紙があ

物価高追い打ち値上げ国保料

古賀

堀

西

和子 光政

派閥カネ無くば君達どう生きる

*特に、俳句・短歌のご応募お待ちし*俳句・短歌・川柳の次回締め切りは*句を詠む時の情景や思いもお寄せく

しております

、2024年

4月10日(水)です。

に執筆されたものです。

この手記は1982年

●応募方法/郵便ハガキにクイズの答え・住所・氏名・年齢・電話番号・

お楽しみクイズ」係あてに郵送か、

F590-0821

堺市堺区大

仙友

(tomo-kenkou@mimihara.or.jp)

消印有効

Ç

のかたに賞品

(図書カード500円

●クロスワードパズル解答はがきに書分)を。賞品の発送をもって発表に 西町6丁184―2 友の会事務局 下の二次元コードで取得できるメール FAX (072-244-7860 の会に対するご意見等を記入のうえ

化する ②誰にもわかるよう-の数立学校の略 タテのキー

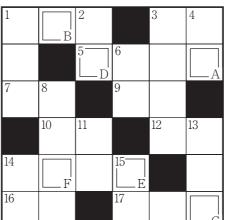
ていただくことがあります。ご了承

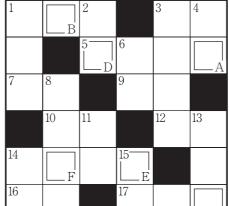
ください。

かれた「ご意見」は、紙面に掲載させ

替えさせていただきます。

カギを解き、二重ワクに入る 文字をABC順に並べてできる 言葉は何?







1月号の答 「ジンドウキキノパレスチナ (人道危機のパレスチナ)」

●応 募 数/151通 ●正解者数/139人

①真の値打ち ③亀の――より年の-⑤証拠 ②手前――を誇る ⑩タテの対 他別居の対 とん ・ 一を洗って待つ が、 で行って待つ

た行

を

ヨコのキー

回落語の――に 一一を以て っを制力